

現在の補助金と今後の動向

10月の執筆時点の段階では、令和5年度補正予算の情報が出てきておらず、これから年末にかけて明らかになってくるものと思われます。多くの中小企業が利用した事業再構築補助金などの大型補助金が今後どうなるのかわかりません。ものづくり補助金等についても3年分の予算が確保され、13次公募まで続いてきましたが、その3年分が終わりを迎えています。このように現在明らかになっている公募の締め切りが迫ってきました。もしかしたら最後のチャンスになるかもしれません。今回はそのような設備投資系の補助金の期日を確認したいと思います。

◆事業再構築補助金

8次公募：2022年10月3日（月）～2023年1月13日（金） ※公表されているものでは最終
〔通常枠〕上限8000万円※従業員数に応じて上限が異なる

公募の回が重なるごとに事業化や再構築の必要性などの記載レベルが上がってきています。一方で、社会貢献やイノベーションに繋がる記載は中小企業にはハードルが高く、差が出る項目です。社会に還元できるビジネスモデルの構築をアピールできないかなど今一度、精査してみましょう。

◆ものづくり補助金

13次公募：12次(10月24日締切)後の13次分が日程未公表 ※公表されているものでは最終
〔通常枠〕上限1250万円

事業再構築補助金と異なり事業の転換ではなく、革新的サービス開発等を行うための設備投資に補助が出ます。売上減少要件がないので、コロナの影響を受けていない企業でも活用できます。

◆事業承継・引継ぎ補助金

3次公募：2022年10月6日(木)～11月24日(木)

4次公募：2022年12月下旬～2023年2月上旬

補助上限額600万円 ※上乘せあり

事業継承のタイミングでの設備投資やM&Aなどの際の専門家費用で使える補助金です。

◆躍進的な事業推進のための設備投資支援事業（東京都）

4次公募：2022年11月15日(火)～11月24日(木)(※受付予約10月17日(月)～11月10日(木)17時)

設備投資に対する東京都の補助金で、上限額は、1億円。